



文部科学省採択事業(平成27年度～平成31年度)
大学教育再生加速プログラム(AP事業)
テーマⅣ 長期学外学修プログラム
(ギャップイヤー)



小樽商科大学では平成27年度から、文部科学省大学教育再生加速プログラム(AP)のテーマⅣ「長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)」に採択され、学生が地域とグローバルな場面で多様な経験を積める長期学外学修(ブリッジプログラム)の機会を提供し、グローバル社会における地域人材育成のモデルケースとなることを目指す教育改革に取り組んで来しました。皆様の参加をお待ちしております。

小樽商科大学国際交流週間

グローバル人材育成公開シンポジウム

地域を軸足に世界へ飛ぶ学生たち

日時

平成30年

10月26日 金

16:10～18:00 参加無料

場所

小樽商科大学4号館213教室

(〒047-8501 小樽市緑3-5-21)

司会

カロラス・プラート

(商学部商学科教授、グローバル戦略推進センターグローバル教育部門長)

主催

小樽商科大学グローバル戦略推進センター
グローバル教育部門

PROGRAM

開会挨拶 | 和田 健夫 (小樽商科大学長)

1 基調講演

地域との連携事業

若者の海外挑戦を応援 —「ほっかいどう未来チャレンジ基金」
(「トビタテ留学JAPAN日本代表プログラム地域人材コース」)

■ 北海道総合政策部政策局総合教育推進室 参事 丹尾 結子氏

2 基調報告

小樽商科大学におけるグローバル人材育成の課題と展望

■ 船津 秀樹 (商学部経済学科教授、前グローバル戦略推進センターグローバル教育部門長)

3 ブリッジ教育プログラム参加学生・卒業生からの報告／ パネルディスカッション

モデレーター | 船津 秀樹

1 ブリッジ教育プログラム参加学生・卒業生からの報告

- | | |
|---|--|
| ■ 山保 直之 (商学部4年生) | ■ 糸川 真生映 (商学部3年生) |
| (正課科目「社会連携実践」=「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(通称:本気プロ)」) | |
| ■ 澤谷 陽太 | ■ 小林 鈴 |
| H28アジア・オセアニア事情
(ニュージーランド・オタゴ大学)、
H29米国レスリー大学 | H28アジア・オセアニア事情
(オーストラリア・ウーロンゴン大学)、
H29フィンランド・オウル応用科学大学 |
| ■ 有原 真由 | ■ 濱松 史門氏 (卒業生) |
| H28アジア・オセアニア事情
(ニュージーランド・オタゴ大学)、
H29ドイツ・ベルリン経済・法律大学 | H26語学研修、H27アメリカ事情
(カナダ・カルガリー大学)、
H29ハワイ大学英語プログラム |

2 パネルディスカッション

講演者と学生によるディスカッション

終了後

国際交流パーティー

(終了後に同じ会場で18:30から国際交流パーティーを開催します。無料。事前申込み不要。)

申込
方法

E-mail又はFaxにて①氏名 ②所属 ③電話番号 ④メールアドレスを
ご記入の上、10月19日(金)までに下記申込先へお申し込み下さい。

フェスタ
国立大学2018

申込・問い合わせ先

国立大学法人 小樽商科大学 学生支援課国際交流室

TEL:0134-27-5263

FAX:0134-27-5264

E-mail:inljimu@office.otaru-uc.ac.jp